

寄付ありがとう 令和4年福島県沖地震支援

3月16日に発生した福島県沖地震により被災した地域の復興支援のため、皆さんから寄付をいただきました。

※このほか、行政機関や個人の皆さんからも寄付をいただいています。



▽4月12日
オリエンタルモーター株式会社



▽4月20日
オリックス株式会社



▽4月18日
長野県伊那市



▽4月22日
日本労働組合総連合会福島県連合会



▽4月22日
鉄道風景画家
松本忠さん（写真：右）

地震被害の復旧業務に力強い支援 派遣職員着任

3月16日に発生した福島県沖地震により被災した道路や公共施設などの復旧事業に支援いただくため、3人の派遣職員に辞令が手渡されました。

▽5月9日
岩手県北上市



▽5月16日
広島県広島市



▽土木技師 鎌田伸さん
（岩手県北上市・土木課）
●期間 5月9日（月）～
10月31日（月）

▽建築技師 今井将隆さん
（広島県広島市・建築課）
▽電気技師 野曾原雄貴さん
（広島県広島市・建築課）
●期間 5月16日（月）～
令和5年3月31日（金）

◎このほか、多くの自治体から罹災調査に職員を派遣いただいています。詳細はホームページに掲載しています。

ホームページ
はこちら



寄付ありがとうございます。スポーツ振興を支援



スポーツ振興に関する寄付は4月7日、市役所で行われ、長澤初男さんが訪れました。同寄付は、長澤さんが県ソフトボール協会会長を昨年で退任したことから、市のスポーツ振興を図るために行ったもの。立谷市長は「長年の活躍に敬意を表します。いただいた寄付はスポーツ振興のために使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

寄付ありがとうございます。相馬地方森林組合

相馬地方森林組合による寄付は4月25日、市役所で行われ、八巻一昭相馬地方森林組合代表理事組合長らが訪れました。

同組合は、社会貢献活動の一環として緑化環境の維持と推進を目的として活動しており、本市の緑化・森林整備に役立てることを目的に寄付を行うもの。

立谷市長は「ありがとうございます。いただきます。いただいた寄付は公園の緑化事業などに有効活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



謝の言葉を述べました。

市民と市をつなぐ 新任行政区長 委嘱状の交付



新任行政区長委嘱状交付式は4月26日、市役所で行われ、新任区長9人が出席しました。

式で、立谷市長は新任区長代表の佐藤誠一西部第7行政区区長に委嘱状を交付し、「行政区区長は地域住民と市役所の橋渡し役です。特に災害時は地域を守るため、市と連携してさまざまな活動に協力いただくこととなります。これから共になんぼつていきましよう」とあいさつ。

同日、退任した9人の区長に感謝状が贈呈され、立谷市長はこれまでの尽力に対し、感謝の言葉を述べました。

春の熱い戦い

東日本パークゴルフ選手権大会

第15回東日本パークゴルフ選手権大会は4月10日、相馬光陽パークゴルフ場で開催され、県内外のパークゴルフプレーヤー162人が出場しました。開会式で阿部勝弘副市長は「県内外から多数の参加者にお越しいただきありがとうございます。晴天にも恵まれましたので、楽しくプレーしてください」とあいさつ。

競技は本丸A・B・C、二の丸A・Bの5コース、45ホールストロークプレーで行われ、

参加者たちは晴天の下、熱戦を繰り広げました。



相馬東高校と新地高校が統合

相馬総合高等学校開校式

県立相馬総合高等学校開校式は4月11日、同校で開催され、新生163人を含む全校生徒552人が出席しました。

同校は、令和4年度に相馬東高等学校と新地高等学校が統合し、新たに誕生。

県教育委員会教育長の式辞、校章・校歌紹介に続いて、高野敦史同校校長に校旗が授与されました。



消火活動を学ぶ 小学校避難訓練

日立木小学校



日立木小学校の防火避難訓練は4月20日、同小学校で行われ、児童ら86人と日立木地区消防団員7人が参加しました。

訓練は給食室からの火災を想定して行われ、児童らは火災発生の際に放送が流れた後、教師の指示に従って一斉に校庭に避難。

続いて、実際の消火活動で使用する消防ホースによる放水訓練が行われ、代表児童4人が消防団員に支えられながら放水し、消防団の活動を体験しました。

八幡幼・小学校

八幡小学校の防火避難訓練は4月28日、同小学校で行われ、園児15人、児童107人と八幡地区消防団員13人が参加しました。

訓練は給食室からの火災を想定して行われ、園児らは火災発生の際に放送が流れた後、教師の指示に従って一斉に校庭に避難。

続いて、水消火器を使った初期消火訓練や実際の消火活動で使用する消防ホースによる放水訓練が行われたほか、園児らが消防署の救助工作車を見学しました。



親子でこいのぼりを作ろう

相馬愛育園



おやこふれあいレクリエーション♪手型でペタペタつくろう！ぼくらのジャンボこいのぼり♪は4月29日、相馬愛育園で開催され、16組45人の親子が参加しました。

親子で身体を動かかし、ふれあいの場を提供することを目的に同園が主催。

参加した親子らは、インクをつけた手のひらで真っ白なこいのぼりに手型を押し、参加者全員でカラフルなジャンボこいのぼりを完成させました。

こいのぼりは、5月31日まで同園に飾られました。

12年ぶりに本市で開催

相馬市報徳サミット実行委員会

相馬市報徳サミット実行委員会は4月15日、市民会館で開催され、関係者ら21人が参加しました。

報徳サミットは、二宮報徳ゆかりの市町村が一堂に会し、報徳仕法の検証を通して、これからのまちづくりや人づくりに必要な取り組みを学ぶために開催されるイベントで、12年ぶりに本市で実施。

会に先立ち、立谷市長から委員代表の渡邊孝喜区長会

長に委嘱状が交付されました。



報徳仕法や地域の風土を学ぶ

相馬看護専門学校

相馬看護学校の報徳仕法と相馬地方の風土や特徴を学ぶ授業は4月19日、同校で行わ

れ、1年生40人が参加しました。

同授業は、相馬地方に伝わる報徳仕法の一つである「至誠の精神」を教育理念に据え、地域に根差した看護師の育成を目的とするもので、本年度より新設。

当日は、中央公民館活動団体の中央シルバークラブとの交流が行われ、看護学生らは同塾のメンバーから昔の相馬地方の生活や体験談などを聞き、地域の特徴に対する理解を深めていきました。



本格的なクラシックの響き そうま音楽夢工房



そうま音楽夢工房第70回演奏会「ピアノソロコンサート『春の本格クラシック』」は4月29日、市民会館で開催され、約40人の市民らが訪れました。

出演者は世界各国で活躍するピアニストの風呂本佳苗さん。

ノクターン第2番変ホ長調（F・シヨパン作曲）や交響曲第5番「運命」（L・V・ベートーヴェン作曲）などの本格的なクラシックが披露され、参加した人たちは風呂本さんが奏でるピアノの多彩な音色に聴き入っていました。

子どもたちの晴れ舞台 エル・システマ子ども音楽祭



第7回エル・システマ子ども音楽祭 in 相馬は、5月7日～8日、市民会館で開催。子どもたちが日ごろ練習してきた演奏や歌声を披露しました。

5月7日は、向陽中、中村二中、中村一中の吹奏楽部がそれぞれ演奏を披露したほか、相馬子どもコーラスが古橋富士雄さんの指揮のもと「金子みすゞの詩による七つのタプロー」などをラッキイ池田さんと、彩木エリさんの振り付けを交えて合唱しました。

5月8日は、相馬子どもオーケストラが団員の中川魁



さんの指揮による「セントポール組曲」（G・ホルスト作曲）などを演奏したほか、バイオリンリストの久保陽子さんと共に「バイオリン協奏曲（メンデルスゾーン作曲）」を披露しました。

ファイナーレには、相馬合唱団エスポワールと相馬子どもコーラスのメンバーも加わり、「相馬盆唄」が披露され、訪れた市民らが大きな拍手を送り、音楽祭は幕を閉じました。

YouTubeで動画を配信中



支援金を日本ユニセフ協会に寄付 市ウクライナ人道支援募金

市は5月6日、市ウクライナ人道支援募金として皆さんから募った支援金196万1,024円を公益財団法人日本ユニセフ協会に寄付しました。

同募金は、命と生活が差し迫った脅威にさらされているウクライナの人々を支援することを目的に3月4日～4月30日の期間、支援を募ったもの。

市内設置の募金箱などで46万1,024円の募金が集まったほか、趣旨に賛同いただいた市内企業などから150万円の支援をいただきました。



立谷市長は「ウクライナの子どもたちの生活支援に役立てていただきたい」と述べ、元日本ユニセフ協会職員の菊川穰一般社団法人エル・システマジャパン代表理事に目録を手渡ししました。

「支援いただいた企業などは次のとおり」（敬称略順不同）

- ▽成田食品工業株式会社
- ▽株式会社成田
- ▽岐阜食品株式会社
- ▽相馬共同火力発電株式会社
- ▽相双五城信用組合
- ▽相馬市総合建設業組合
- ▽相馬中央病院
- ▽相馬商工会議所
- ▽相馬双葉漁業協同組合
- ▽相馬市区長会
- ▽相馬市医師会
- ▽相馬市役所部長会
- ▽相馬市役所課長会
- ▽相馬市職員共助会
- ▽自治労相馬市職員労働組合